

▽再び電車に乗りて外宮に詣す、内宮に比して規模稍小なり、
新苑の清素なること前に同じ。

▽夜に入つて山田を發す、十二日黍明沼津に達す、カーテンを
排して車窓より北の方を見れば、愛鷹山暗く横はり、その頂に
ほのかに富士を見る、暁の星の低く高く朧げに光を放てり。

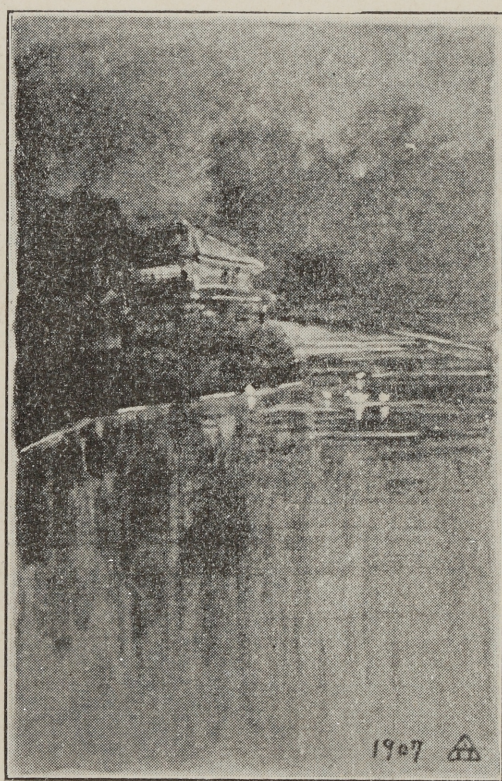
▽車は進みて佐野のあたりを走る、富士は青白く空より拔出た
り、残んの星は光りを失ひ東方漸
く紅を呈す。

▽絶えず富士を眺めて其暁の色の
うつりゆく様を見る、蒼白かりし
雪はやゝ暖昧を帯びて淡き綠を含
み、更に紫を加へ來れり、東方益
々明るく金時山の輪廓鮮やかに
なりゆく時、車は御殿場に近づき、
富嶽の頂上忽ち紅に變じ、見る間
に曙光は裾野に下り來て、淡紫
色せる影を没し去れり、壯觀偉觀

！我は冷たき玻窓に顔押あて、他に言ふ處を知らざりき。

▽汽車の新橋へ着きしは朝の九時なり、此行沿道に知友多く、
擧げ來れば百を以て數ふべし、一々訪ふて語り合はゞ如何に樂
しからん、しかも逢ひ見しは僅に其十中の一二に過ぎず、いと
まなき身の止むを得ざりしことゝは云へ、遺憾これに加ふべき
ものなし。

(おぼり)



立花 甚之助 筆

水貼ブロック

旅行の時に宿屋で一々紙の水貼をするは面倒なもので、終日寫
生して疲れ切つてゐる時は殊更にイヤなものなり。さればとて
普通のスケッチングブロックは、繪具を弾き又は膨れ上りて畫
きニクきものなり。水貼ブロックはそれ等の弊を避くることを

得べし。其法、まづ旅行前に入用
丈の紙を用意し、畫板に普通の
水貼をして、乾きし時に其上へ第
二枚目を貼り、順次かくして重ね
てゆくので、何枚でも差支ない。
そして一枚を貼り終つた時、番號
をつけて置けば、使用しつゝアド
何枚残つてゐるといふこともわか
る、板の裏表を用ふるは勿論、な
るべくは二枚の畫板を用意して置
くと都合がよい、繪を畫き終つた
ら小刀で上の一枚を剝がすので、此時注意しないと下の分迄剝
がして仕舞ふことがある、ワットマンは一度水貼するとよく風
をひく事があるが、此法を用ふれば、中の方の分は空氣に觸れ
ぬから其心配がない。